

その他の廃棄物処理業における切れ・こすれ災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
2	18~19	事業主の資材置場より、鉄スクラップをトラックで運搬している途中、サイドミラー越しに、荷台から鉄スクラップがはみ出ていることに気付いた。場所は公園運動場近くで、道路が駐車禁止ではないことを確認の上、その道路上でトラック荷台にのぼり、鉄スクラップを荷直ししている際、その鋭利な部分に触れ、右手を負傷した。	46	1~9
3	8~9	取引先において不燃物収集の際、持ち上げた袋に入っていた割れたガラス片が運ぶ途中に右足ふくらはぎに当たり、約5cm程肉をえぐる形で切った。割れたガラス片として、個別包装も表記もされていなかった。	49	50~99
3	11~12	資源ごみ収集作業終了後、洗車場にて自動巻き上げリールより洗車用ホースを伸ばしていたところ、予期せぬ時にホースが自動巻き上げリールに勢いよく巻き取られ、ホースに左手を添えていたため左手拇指をホースがこすり、左手拇指を負傷した。	56	100~299
4	9~10	当社工場に於いて、銅板（幅3cm・長さ20cm・厚さ3mm）に付いているネジを削り取るために、銅板をプライヤーではさんでサンダーで削っていた際、誤って右手親指がサンダーに触れてしまい、親指外側を負傷した。	70	30~49
4	9~10	ドラム缶に入っていた真鍮ワイヤーを出荷用のフレコンバックに作業手袋を使用し移し変える作業中、フレコンバックからワイヤーがはみ出していたので入れ直そうと左手に力を入れてワイヤーを引き上げた際、ワイヤーで左手示指を切っしまい、左手示指を負傷した。	31	30~49
	10~	書類ごみの収集中、荷台の上で、ビンを専用の網かごに積み換えを行っていた。		

5	11	網かご中のビンを均そうとして、かごの中に右手を入れたが、割れたビンに気が付かなかったため、右手掌を切ってしまった。	29	—
6	9～10	ごみ集積場所において収集作業中、掴んだごみ袋に割れたガラスが入っており、手袋ごと指を切り負傷した。	56	50～99
7	14～15	リサイクルセンター内で、産業廃棄物の分別作業中、硬質ポリエチレンを切断するため、ディスクグラインダーを使用していたところ、材料を抑えていた左手が滑り、グラインダーの回転刃が左手人差し指と中指の第一関節付近に接触し裂傷を負った。滑り難いゴム製手袋を装着していたが、一瞬の油断が事故を招いた。	24	10～29
7	10～11	集積所において資源物（ビン、カン、ペットボトル）の収集作業中ビンの入っているカゴの中に割れた花瓶（不燃物）を取り出そうとした時右手人差し指の手の甲付近を切り負傷した。	40	30～49
7	16～17	ビン選別中ビンについているキャップを外そうとしたところ、キャップを回したと同時にビンが割れてしまい、軍手を二重にはめていたが、左手人差し指を切傷した。	68	50～99
7	8～9	路肩に設置した集積定点で、資源ごみ（缶、びん、ペットボトル）を収集作業中、ごみ袋の中に混入していた危険物（ガラス破片らしきもの）で、右手環指に切り傷を負ったもの。	51	50～99
7	11～12	工場内において駐車場入口のコンクリートの高さを電動ハンマでハツリながら高さを調整中に事故が発生した。被災者は、両手で持った電動ハンマ（縦約20cm×横約10cm・長さ約80cm）でコンクリート（縦約40cm×横約100cm・長さ約200cm）を破碎していた。その時、電動ハンマの刃先がコンクリートで滑って被災者の左足に当たり負傷した。	47	1～9
7	16～17	解体産業の作業場で、中古アルミサッシをハンドカッターで切断中に本体が跳ね返り、右手親指に接触して負傷した。	70	10～29
		当社工場内において、廃品の渦巻き状態のケーブル（太さ20mm）を1.5m程の長さ		

7	15～ 16	にカットする作業中の災害である。被災者が小型シャーリングで数本まとめてカットしようとしたところ、グローブをしていた右手が滑り、誤って右手小指の爪の部分から先を切断した。	73	1～ 9
7	9～ 10	リサイクルセンターで、粗大ゴミの破碎作業中、電動式丸形ノコギリを使用して、木材やプラスチック等を切断するとき、左手親指を切断した。	52	1～ 9
10	14～ 15	建設現場で、廃棄物収集作業中にトタンが袋に入っているのに気づかずにつかんでしまい、左手人差し指を切った。	46	10 ～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html